



虫の音も聞かれはじめ、近所でトンボの群れも見かけました。とにかく暑い8月でしたが、少し秋の気配を感じます。私事ですが、うちの犬が今日2日の誕生日で、満18才になりました。人間でいうと88才ぐらいでしょうか。10才の保護犬を迎えた時、平均寿命

が15才くらいなので、5年は一諸にいられるといいなあと思いはじめました。あれから8年！うれしい誤算です。今年4月の健康診断でも検査数値は正常範囲内。ヨクヨク、白内障もあり、耳も遠いが食欲はある立派なおじいさん犬です。ここ最近、腰から崩れ落ちて、横座りのようになるとがしばしば。足腰の衰えは人も動物も同じ。動物病院では「歳だからねえ」と言われる症状です。老化(=加齢+機能低下)と言えはひと言で終わらちゃうんですが、でも、健康かに老いるために、こんな時は昔から鹿茸を使います。バイカク、バクという鹿の鹿角が原材料です。漢方薬の中では補腎薬と位置づけられ「精を生じさせる」と本草綱目という古典にはのっていますか？(たんのこっせ!?) つまり「生命力そのものを補う」という機能が「あるのが鹿茸」です。そこで、老化の著しいうちの犬に飲ませてみました。(犬は1年で4歳をとる) 結果、あきらかに足腰がシャんと歩き方がしっかりしました。動物生薬の力を実感... 目指せ20歳!!



誰よりも大切なコロ(犬)のことになると書き足りないようですが、ちよと一言、気血の気に関してスリとなく気の滞りはないでしょう。血に関しては、栄養をとって巡りよくとあれこれサポートしています。胃腸も丈夫なので鹿茸製剤も良夜かいたんでしよう。

夏の暑さにせられ水びたしになったからだに、まず胃腸を労り、栄養もとること、往時提案、食事では栄養不足になるというのが常識になりつつあり、現代型栄養失調はかなり深刻です。



野菜信仰もほどほどに。暑さで弱った胃腸でも、消化・吸収に負担もかけずに栄養のとれりかき肉エキス、セラセンタエキス、酵素など上手にとり入れて下さい。

